

平成 17 年 12 月吉日

報道関係者各位  
プレスリリース

大成ファインケミカル (株)

.....  
**「コア・シェル型非水シリコンエマルジョン」の開発に成功**

**皮膚用の素材原料として、化粧品・医療品分野へ貢献**

.....  
大成ファインケミカル(株) (本社：千葉県旭市) は、シリコンオイル中にシリコンとアクリルのコア・シェル型エマルジョンを形成させた非水シリコンエマルジョン (商品名 アクリット「8HV シリーズ」) の開発に成功した。同社では既に特許を取得しており、2006 年 1 月 15 日より有償 (100 g 当たり 1,000~5,000 円) でのサンプル提供を開始する。

今まで皮膚保護やスキンケア分野では、肌への密着とコーティング膜の強度にとらわれ、皮膚呼吸性やツツパリ感に課題があった。

本製品は、シリコンを表面に配向させたシリコン・アクリルのエマルジョンコロイドで、コロイドを皮膚へ個々に密着させ、同時に均一に並べたコロイド同士を点接着させることでツツパリ感をなくした。これにより、密着性・耐水性を向上させつつ、違和感のないポーラスなコーティング層を形成させた。加えて、同社が保有する「カプセル化技術」も応用し、紫外線防止剤、抗菌剤、潤い成分等も均一に分散することも可能である。

現在、化粧品・医療品分野に加え、淡白質表面へのコート剤の応用として動物や植物に至るまでの応用展開への活用にも期待されている。

すでに、一部の皮膚保護剤として提携している他、海外からも多様な用途から要望がきており対応に追われている。

同社は 2005 年 3 月に中小企業経営革新支援法 (現：中小企業新事業活動促進法) の認定も受け、2005 年 4 月には「ポリマーコンプレックス」を発表し、創立 2 年目にして独自の最新技術へ脚光を浴びている。

従来の樹脂設計は、皮膚への密着性を上げる為に粘着力や塗膜間強度を上げており、通気性が悪くアレルギーや蒸れを生じ、傷の完治の遅れやシミの原因となっていた。また、化粧品分野等では、ツツパリ感 (違和感) があり用途展開が限られていた。

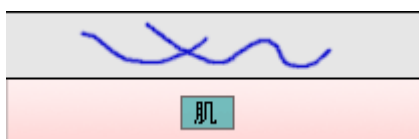
しかし同社では、独自の合成技術法で各コア・シェルエマルジョン自身に密着性を持たせ、各分子を点接着させることで強度と密着を維持しつつ、通気性を持たせることに成功した。さらに、シリコンをコロイド表面に配向させた。これらにより、皮膚刺激性が低く、耐久性、耐水性があり、蒸れやアレルギー反応が低い皮膚等の用途に適した素材が完成し、シミの防止や傷の早期完治に期待できる。

現在、同社内での皮膚用パッチ試験では、アレルギー反応がないだけでなく、パッチ試験の粘着剤による皮膚へのダメージを低減させる保護効果もあり、肌荒れもなくシミが残らないことが実証されている。

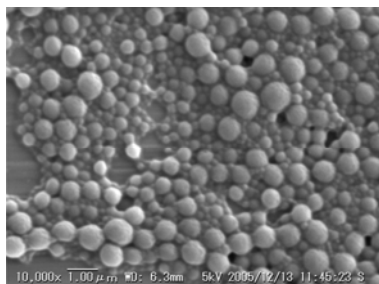
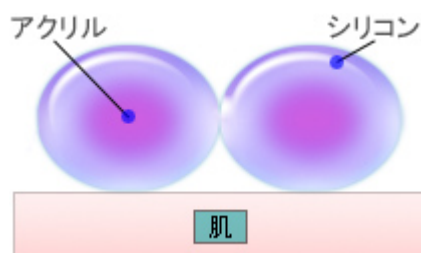
用途としては、スキンケアや医療関連の肌荒れ防止や経皮吸収剤の皮膚保護剤などさまざまな用途が期待される。さらに、同社では機能性物質を内包させるカプセル化技術も保有している為、コア・シェルの構成変更や内包剤の変更など顧客ごとの設計も可能である。

大成ファインケミカルは、大成化工(株) (本社：東京都葛飾区) より 2004 年 4 月に樹脂事業を継承し分社化した。溶液中での樹脂重合では 45 年の経験があり、分社半年で ISO を認証し、品質と高機能性に加えオーダーメイドでのクイックレスポンスには定評がある。

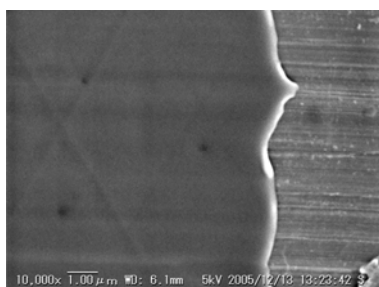
■他社シリコンアクリル樹脂



■非水シリコン・アクリルエマルジョン樹脂



同社：非水シリコンアクリルエマルジョン樹脂



他社：シリコン樹脂

本報道用資料に関するお問い合わせは、以下までご連絡くださいませ。

大成ファインケミカル株式会社

専務取締役 稲生 豊人

営業所：東京都葛飾区西新小岩 3-5-1

電話： 03-3691-3111

FAX：03-3691-3160

E-MAIL： [info@taisei-fc.co.jp](mailto:info@taisei-fc.co.jp)

URL： <http://www.taisei-fc.co.jp/>